



上尾ロータリークラブ



2020-2021年度R.I.テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

第2877回 例会
2021. 5. 27

会長あいさつ

週報 No.2169
発行 2021年 6月 3日

2020-2021年度
会長 宇多村海児
幹事 深澤 圭司
副会長 齋藤 修弘
副幹事 長沼 大策
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

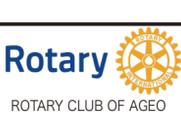
行事予定

- 6月10日 卓話「仏像は語る」
埼玉県美術家協会会員
利根川健介様
- 6月17日 クラブフォーラム⑥
『一年を顧みて』
役員・理事・委員長
による卓話
- 6月24日 最終例会
(例会時間変更)

皆さん、こんばんは。先週のIMには、多くの会員の皆様にご参加いただきありがとうございました。元来なら新年度に向けて晴れ晴れとした気分になるころですが、今年度、やり残していることもあるため、ちょっとまだ忙しい年度末です。

さて本日の会長あいさつですが、前回(5/13)、命の問題とロータリアン・ロータリークラブということ、2回に分けてお話ししたいと思っていたのですが、無計画にもついつい話しはじめてしまい、喋っているうちになんとなく全部の内容を1回で、事実を羅列したようなだけになってしまって、宇多村はいったい何が言いたいのだろうと思われた方がいると思います。その点を反省しています。命の問題や人が生きるということ、私は割と若い頃から興味があり、ことあるごと折々に、人が生きるということはどういうことなんだ、そして人が社会の中で生きるということはどういうことなのだろうかというのを考えることも多い青年期を過ごしたものです。私は五体満足、何不自由ない体で幸いにも54年間生きてこられたわけですが、ハンディキャップを背負っている人たち、あるいは誰かの手助けを受けないと生活できない人たちもいらっしゃいます。特に我々上尾ロータリークラブは、30回(=30年)の「障がい者作品展示即売会」を主催しておりますので、一般の方よりも実情に触れる機会がある団体、そしてその功績があると云える団体だと思います。

実は2回に分けてお話ししようと思ったキッカケの1つに、障がい者作品展示即売会の実行委員会での出来事があります。昨年、実行委員会に深澤幹事とともに出席してきました。社会奉仕委員長をしていた時にも出席したことがあるので、様子はだいたいわかっていたのですが、ちょっと違和感を覚え、意見を申し上げてしまいましたが、と言いますのも、ほとんど市役所の方の一方的な説明で、果たしてこれは何のためにやっているのか、誰のためにやっているのか、というところがスッポリ抜け落ちたかのような印象がありました。コロナ禍ですので、開催できるかどうか、ということもあったのですが、それよりも市役所の担当の方が、数あるイベントの中の1つのようにとらえているのかなと思っていたのですが、ついに集客のための新たな企画



ROTARY CLUB OF AGEO

について発言をされたので、私は話を一旦止めて、意見を申し上げたんですね。それは次のようなことでした。市役所の担当の方が喋っている間、事業所の方の意見・発言はまったくなくて、それも違和感があったことなのですが、まず何よりもこの障がい者作品展示即売会で、売り上げの問題があるのかも知れませんが、展示即売会ではモノを売るだけではなくて、外に伝えるべきはなんなのかというのをもちと事業所の皆さんから発信してもらいたい、と。市役所の方も集客のために考えたのだと思いますが、大きな目的というのは、社会と障がい者の方、健常者と障がい者の方のつながりに加え、いかに事業所を運営されているのが大変か等、物品を販売することを通じて訴えていかなければいけないのではないかと、そこをもう一度よく考えてもらいたいと申し上げました。会場は一時で静まりかえり、市役所の担当者も黙り、結果的に今年度(=コロナ禍)で中止になりましたが、ここで前回の会長あいさつにもつながってくるのですが、私たちはとにかく五体満足に動けて日常生活ができることから、なかなか障がい者や世話をしている人の変容に思いを馳せることができないというところで考えてみますと、私たちはロータリアンである、ロータリアンであるからにはやはり一般の方以上に人が生きるということ、それは健常者であれ障がいを持つ方であれ同じように人間が生きるということはどういうことなのかというところを深掘りしながら考えていかなくてはいい、そういう団体であらうかというふうには思っております。ちょっと話はまとまりませんが、生きるということについてはまた話したいと思えます。

最後に新聞で皆さんもご覧になった方がいらっしゃると思いますが、北海道・北東北の遺跡群 縄文遺跡が世界文化遺産に指定されそうだと大きく報道されていました。その中で見つかった骨には、頭の大きさに比べてやけに足が細いからこれは女性の骨であると思われていたものが、DNAの鑑定でポリオを患っていた縄文人だと最近の研究からわかったそうです。となりますと4000年近く昔から障がいをもつ、助けがなければ動けない、縄文人ですらそれに寄り添って生きていくことができたわけでございます。現代人と縄文人は違いますが、昔であれば尚のこと生活がたいへんだった環境の厳しさがある中でもできたわけです。我々も果敢にそういったこ

とに対して取り組んでいかなければならないと、今日新聞を読んで改めて思ったところです。会長あいさつは以上です。本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

深澤 圭司幹事

◇中里公造ガバナーが病氣療養から復帰します。しばらく小林副ガバナーが代行を務めていたのですが、6月10日から中里ガバナーが復帰する予定とのことです。
◇日本のロータリー100周年を祝う会が先日開催され、その時の動画がオンライン配信されています。6月18日までご視聴いただけます。
◇6月の例会の会場はまたフロアに戻ります。



2020-2021年度 中里公造ガバナー

委員長報告

長沼 大策 副幹事

年度計画書作成にあたり、会員名簿に変更箇所がないかのご確認をご郵送させていただきます。またコロナ禍であることから次年度役員理事委員長会議は見送らせていただき、委員長予定者さんには委員会方針・計画の記載をお願いしています。それと、クラブ細則の一部改正についてのご提案を同封させていただいております。来週の例会で臨時総会にてご判断を投票いただきますので、内容のご確認をよろしくお願いたします。

結婚・誕生祝い

結婚記念日 おめでとうございます!
齋藤 博重 会員
お祝いをいただきありがとうございます。5月5日が結婚記念日で、今年で30年という節目を迎えました。25周年の時、シンガポールからモルディブに旅行に行きましたが、今回はコロナ禍ということで、旅行は見送りました。思いがけないことが一つありました。社会人になって2年目の息子から「30年はすごいよ」と誉めてもらいました。息子の知り合いには何組か離婚されている方がいたそうです。この子どもの発言で、救われたように思いました。30年、いろいろありましたが、このように生活でき

ているので感謝しています。これからもよろしくお願いたします。

お誕生日 おめでとうございます!

深澤 圭司 会員

5月9日に55歳になりました。最近、容姿を変えようと思い、美容整形に通っています。2年後にはクラブの60周年という大役が回ってきますのでシミなどを抜いて、見かけだけでも若返ろうと思えます。お祝いをいただきありがとうございます。



ポールハリスフェロー授与

藤村 作 会員



例会主題

次年度計画表

次年度会長予定者 齋藤 修弘 会員

次年度会長予定者の齋藤です。私は2013年4月に入会しました。当時はロータリークラブがどのような活動をしているのか全く分かっておらず、須田さんの会長年度で幹事をやらせていただいでやっとならぶ事がある程度が分かってきました。須田さんから幹事をお願いを受けた時に、いよいよ会長が回ってくるのかと覚悟を決めたのを覚えています。

今まで会長をやってこられた諸先輩方は皆さん、会社の経営者で一国一城の主ですが、私は個人事業主ではありますけど、社会体裁的には保険会社の1社員です。このような私が、歴史と伝統ある上尾クラブの会長をやらせていただいでしてしまって大丈夫なのか、分不相応ではないかと感じております。ただ、幹事をやらせていただいたロータリーの事が分かってロータリー活動がより楽しくなりましたし、先日のPETSでも講師から「会長をやるのは一生に一度」と幾度となく言われました。やるからには、クラブの発展にほんの少しでも寄与できればと思い、4つのテストにもある「みんなのためになるかどうか」を念頭に置いて、まずは皆さんのために私自身がクラブのために奉仕していこうと思っております。

ここから具体的に次年度どのようにやらせていこうかという年度計画をお話いたします。

◆PETSを受けて

◎RI会長シェカール・メータ氏はインド・西ベンガル州カルカッタRC所属。RIテーマは、『SERVE TO CHANGE LIVES』奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために です。

私ごとで恐縮ですが、この一連のコロナによる影響で2年前に比べて収入が4割減となり、苦境を強いられています。今の生命保険業の仕事をやっているようになって10年経ちますが、ここ最近ほど不安に感じたことはありません。ですが、こんな時こそ須田さんのスーダーイーツやアグテイクを見習い、苦しいのは自分だけではない、苦境に立たされた時こそ「世のため人のために」との精神でやっつていこう、コロナで社会情勢がほとんど一変してしまいましたが、こういう逆風吹き荒れるタイミングで会長をやらせていただく事に、自己研鑽できる良い機会であると言いつつ感謝の気持ちで受け止めています。

◆松本輝夫ガバナー (さいたま中央RC) についてです。

地区運営方針は COVID19に負けずに「クラブに変化と成長を」です。

今日のこの発表の機会を受けて、改めてロータリークラブとはどのように定義されているのか、インターネットで調べてみました。

「ロータリークラブ」とはウィキペディアでは 国際ロータリーが世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に3万3000クラブを擁し、会員数は約120万人、とありました。

◆次年度は中核的価値観の中でも、奉仕と親睦、こ



「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

の2つの大きな項目によりフォーカスした活動をしていきたいと思います。まずは奉仕についてです。

- ・**クラブ奉仕**：職業奉仕のことですが、クラブ内で何か困っている会員がいたら幹事報告や本人からの近況報告の場を設けるなどでして、まずは会員間の情報共有をして、メンバー間で力になれることがあったらそのような風土を醸成していきたいのかなあと考えています。また職業奉仕の観点で、会員卓話をプログラムしたいと思います。
- ・**社会奉仕**：地区補助金通常枠を使っている事業。視覚障害をもつ障がいの方がいる施設「領家グリーンゲイブルズ」への保冷庫の支援を考えています。
- ・**青少年奉仕**：ローターアクト創立に向け模索していきたい。インターアクトも再始動できるように。
- ・**国際奉仕**：やれる範囲でダナンの施設への支援をしたいと考えています。

次にもうひとつ重要な「親睦」についてです。

- ・**親睦活動委員会**：コロナ次第ですが、7月に納涼例会を屋外でやりたいと考えています。
- ・**ホビー委員会**：ゴルフや野球部の練習だけでもたまにやっていきたいと思います。須田直前の角打ち飲み会もやりたいと思います。
- ・**会員増強**は EACH ONE, BRING ONE. 世界で120万人→130万人にが目標とのことです。みんなで作るのではなく、一人一人がやってほしいとRI会長は仰っています。また今年度の宇多村会長もクラブビジョンに掲げている「老壮青が融合した活気あるクラブを目指す」について→中期的戦略目標60周年までに50名。あと12名なので、私の年度で6名は入会していただきたいと思いますが、会員数3名増とガバナーには伝えました。皆様の力を借りてイーチャンプリングワンでやっていきたいと思います。さてクラブのさらなる活性化へと繋げるために、



地区運営方針：
COVID19に負けずに「クラブに変化と成長を」

また活性化することでその二次的な効果として会員増強に繋がっていくであろうということで、入会歴の浅い会員にRLIを受けていただきたいと思えます。また、ロータリー情報委員会を樋口委員長に歴浅会員に向けて、またロータリー活動の意義を再認識するためにも開催してもらいたいと思えます。

- ・**米山記念奨学生**：地区特別枠で荘正宇君(日本薬科大)の世話クラブになります。コロナ禍でまだ来日できていませんがよろしくお願いたします。

最後に、生涯一度きりの会長経験 失敗を恐れずにチャレンジしていきたいと思えます。会長という「長」という肩書ですが、まずは自分自身がクラブのために奉仕して、会員の様々な意見に耳を傾けていきたいです。60周年を目前に控えた年度。歴史と伝統ある上尾クラブが今後益々発展していくよう、その1パートを担う年度となるよう、まずは奉仕、そして親睦をモットーに一年間、私にとって非常に貴重な機会でもあります。クラブのため皆さんのために頑張ってください。至らぬ点が多々あるかと思いますが、その際はどうかご指導ご鞭撻をいただけますと幸いです。何卒よろしくお願申し上げます。

会員数	38	
出席数	22	出席率 57.89%
欠席数	16	